

代表質問

鳥取県議会自由民主党



常田 賢一 議員
選挙区 鳥取市



故・安倍元総理を悼んで

問 生前の功績をどう評価するか。
答 鳥取県中部地震において、災害復旧と併せて観光復興もお願いしたが、何でもやりますと耳を傾け突破して頂ける方だった。

シン・子育て王国の環境整備

問 不妊治療の県独自の助成をもっと広報・アプローチすべきでは。
答 国の保険制度から外れても対象になることをもっと強調し、県政だより等で広報を強化したい。
問 ファミリーワーケーションの今後の展開は。

答 自らの人生観・家族観を変える力がある。将来の県の挑戦のヒントがあり、取組を進めたい。

まんが・アートの育成

問 県立美術館が購入したアンディ・ウォーホル作品について、どう評価し活用するのか。
答 (教育長) 教育の場において新たな視点で物事を柔軟に捉え、想像力豊かに子ども達が育む大きな期待を持つが、多くの県民にその意味が伝わっていない。収集方針等説明が浸透していないことが反省点だと謙虚に受け止めている。

「食のみやこ鳥取県」の推進

問 副業・兼業人材を通じたさらなる情報発信を行っては。地元の意欲ある人材を活かしてはどうか。
答 素晴らしいお店やノウハウは県内でも蓄積されてきており、お店のプロデュースをしたり、ハイエンドな人を含めた情報発信を試みたり、色々展開できるのでは。食のみやこのバージョンアップ事業をやってみよう。

ねりんピックの展開

問 青合上寺朗をマスコットキャラクターとして起用するが、トリピーと共にLINEスタンプ等で

身近に感じてもらうにはどうか。
答 確かに面白い着想で、最近が高齢者の方もLINEを使われているので、検討に値すると思う。

漢方生薬の国産化

問 8割以上を中国に依存しており、国産化・聖地化を進めるべき。
答 ブクリヨウは99.9%中国産。国内で初めて人工的に生産することができ、安全保障の意味でも重要な拠点となる段階にきた。

デジタルインフラの整備

問 5Gのデジタルデバイス格差を解消するよう国に働きかけを。
答 5Gの鉄塔は国平均を1とすれば、鳥取が0.7、東京は実に41あり、公平ではない。岸田総理にはデジタル田園都市国家と標榜するならば、取り残されることがないように申し上げている。

とっとりエコライフ構想

問 EV・PHVの普及促進を図るため、公共・家庭用・集合住宅の急速充電器は足りているのか。
答 県では70台設置しているが老朽化が進み再度テコ入れが必要だ。家庭では5万円程度かけ200ボルトのコンセントを作れば充電可能。マンション等には政府の支援策もあり、鳥取市内でも

登場し始めている。

代表質問

会派民主



西村 弥子 議員
選挙区 米子市



任期半年の課題と使命は

問 長引くコロナ禍、燃油高、円安、物価高で企業と生活に影響が大きい。感染防止と社会経済活動の両輪でどう再生・発展させるか。

答 この半年で再生への方向性を明確にする。社会基盤では、日吉津・境港間の高速道路の方向性を出し次の任期へ引継ぐ土台を作り原発避難路の決着への道筋にする。全国旅行支援割、飲食店支援、企業の新たな挑戦を応援する。豊かな自然・田園風景等の魅力が見直されパラダイムシフトが起こる中、工夫して、県民運動的な仕掛け作りなど丁寧に行っていく。

問 ひとり親家庭、ヤングケアラー等困窮者支援にどう取り組むか。
答 孤独・孤立支援へ知恵を絞る

たい。JAと堆肥の使用や取組も拡げる。

真の「食のみやこ鳥取県」

問 県産品のブランド化に向け新たなGI(※)取得の促進、品質・付加価値向上策は。GIには生産者等から不満の声もあるが県独自の品質保証制度創設は難しい。国内市場で知名度向上できる制度への進化を国に提案しては。日本酒の「強力米」は守るべき県の固有品種であり、米のGI登録を要望する。

答 日本酒は6月に酒造組合が申請した。メディアキャッチ、ブランド戦略とGI取得を組合せ、売りにする。GIは土地名称と生産物を結びつけオンラインワンを公的に認証し国内外の市場性を高める保護制度として有効となり得る。政府に進化したGIの使い方を求める。強力米は関係者と協議する。

いのちを守る教育、性教育

問 性的情報が氾濫する中、世界標準の「包括的性教育」が必要だがどうか。初潮から閉経、性交、妊娠もトータルで教えるべきだ。

答 (教育長) 大事な視点だ。知識と体験の学びで深めたい。人が成長する連続性や発達段階に応じた確かな学びの仕組み作りが必要と改めて認識した。重要性を持ち、今後も浸透を図る。

問 性被害が若年化する中、被害を未然に防ぐには、学校と警察との連携が不可欠だ。現状と課題は。

答 (警察本部長) 本県も被害があり対策は重要だ。少年警察補導員やスクールサポーターが被害防止教室等を学校と連携し実施中。相談体制構築と活動の充実を図る。

更年期障害とキャリア

問 更年期離職で経済損失6千3百億円、50代女性の約4割が日常生活に支障有り。社会の理解啓発が必要。県はどう支援できるか。

答 相談が重要で連携体制が課題。保健所等窓口の機能強化を関係機関と相談し、体制整備を図る。

医療介護人材のジェンダー

問 男性が看護師や介護士を目指すようケア労働への性別役割分業の固定観念を解消する教育を。

答 (教育長) 大人の意識改革が必要不可欠だ。地域と共に努める。
問 女性医師の職場復帰、定着への環境整備をどう支援するか。
答 鳥大医学部合格者も今4割が女性だ。家事援助支援を検討する。

1JUTターンと若者の仕事

問 30代以下の若者にUTターン起業・営農等を強くPRしては。
答 アプリやインターンシップの展開等、新年度の事業で勝負する。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果